

沖電気工業株式会社に対する 「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、沖電気工業株式会社（代表取締役社長執行役員：森 孝廣、以下「OKI」）との間で、シンジケーション方式による「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）のアレンジャーに就任し、融資契約を本日締結しました。

本商品は、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社（取締役社長：吉原 昌利、以下「みずほリサーチ&テクノロジーズ」）が国内外で信頼性の高い人的資本に関する情報開示のガイドライン（ISO30414、内閣府人的資本可視化指針等）を参考に、独自に開発した評価手法を用いて、企業の人的資本経営に関する可視化・開示と実践の取り組みをスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し、みずほ銀行が融資を行う商品です。また、みずほリサーチ&テクノロジーズによる定期的なモニタリングとフィードバックを行い、お客さまの人的資本経営の継続的な取り組みを支援していく商品です。

OKI は、社会環境の変化に対応し持続的に発展をしていく上で人材を最も重要な経営資源の一つと位置付け、多様な人材が前向きに活躍できるよう、ダイバーシティ&インクルージョンの推進や働きがいのある組織風土の醸成、適材の確保・育成・配置を実現する人事施策、働きやすい環境の整備を推進しています。

みずほ銀行およびみずほリサーチ&テクノロジーズは、OKI が以下の領域における取り組みを開示していることを高く評価しています。

・育成領域：

- マテリアリティである社会価値創出に向けた具体的な施策として、「全員参加型イノベーションの実現に向けた基礎研修」を OKI グループ全体で推進していること
- 「実践力のある AI 技術者」の育成に向けた目標指標ならびに達成状況について開示していること

・健康・安全領域：

- 会社と健康保険組合が一体となり OKI グループ全体の健康経営を推進していること
- 「OKI グループ健康経営戦略マップ」において健康経営で解決すべき経営課題への取り組み（投資）に加えて、それら取り組みの効果と目標指標を開示していること

〈みずほ〉は、各企業が中長期的な企業価値向上につながる人的資本経営を実践することが重要と考えています。本商品の提供を通じ、継続的なエンゲージメント（建設的な対話）

を行うことで、お客さまの持続的成長、および中長期的な企業価値の向上に貢献することを
目指すとともに、国内における人的資本経営の取り組みの普及・促進に貢献していきます。

<案件の概要>

融 資 先：沖電気工業

アレンジャー行：みずほ銀行、三井住友銀行

貸 付 人：みずほ銀行、三井住友銀行をはじめとする国内金融機関

契 約 締 結 日：2024 年 1 月 23 日

実 行 日：2024 年 1 月 26 日

(※1) Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス

2023 年 5 月 30 日付プレスリリース「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の取り扱い
開始について

URL： https://www.mizuho.com/jp/release/pdf/20230530_2release_jp.pdf

以 上